



# 雪国札幌に生きる

札幌市立星置東小学校 小笠原啓之 教諭



▲授業に先立ち調査した、親子のアンケート結果の違いを説明する小笠原教諭



▲真冬にTシャツ一枚で寒さを体験



▲走れば暖かくなるよ!



▲インターネットで雪について調査中

札幌市立星置東小学校の5年生に「雪国札幌に生きる」という授業があります。これは、同校の小笠原教諭が「北海道雪プロジェクト」のメンバーとして活動していたことから、札幌の冬に欠かす事のできない「雪」を題材に、子どもたちがグループごとに調べた事を発表するという授業です。

子どもたちは「雪国札幌の良さを雪や冬の嫌いな大人に伝えよう」という願いをもって学習に取り組んでおり、札幌の冬について基礎的なデータの収集、パソコンを使い雪の結晶を作る方法や雪エネルギーなどについて調べています。中にはTシャツ一枚になり「冬の寒さを体験してくる」と言って外に飛び出すグループもあり、教諭たちを驚かせていました。

同教諭は「この授業を通じて、雪や寒さを宝物だと感じられ、札幌に住んでいることを誇りに思える人に成長してくれればと思います。また、将来この子たちの中からプロスキーヤーなどが誕生したら嬉しいです」と子どもたちの未来にける思いを語ってくれました。

なお、同教諭はこの授業への取り組みが評価され、今年度の札幌市教育実践功績表彰を受賞しました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639